



榑神社の銅製の鳥居（奥に実増井） 天理市榑町で



（住所）天理市榑町443
 （祭神）五十狹芹彦命、鬼子母神
 （交通）JR桜井線榑本駅から北
 東へ徒歩約10分

（拝観）境内自由
 （トイレ）あり
 （駐車場）なし
 （電話）なし

榑神社 （天理市）



榑神社の鳥居は珍しい銅製で、奈良町と桜井を南北に結ぶ古道「上街道」に面しています。江戸時代は長谷寺（桜井市）に参拝する「初瀬詣で」や伊勢参りの人が行き交う信仰の道でした。祭神は五十狹芹彦命と、子授けの神である鬼子母神の2柱。日本書紀

によると、五十狹芹彦命は第七代孝靈天皇の皇

子。崇神天皇が東海など4方面に派遣した「四道將軍」の一人で、山陽道を平定し、吉備津彦命と、たたえられています。社殿は檜皮葺きで、方一間（一辺の柱間が一つの正方形の春日造り（切妻屋根で、棟と直角な面

に入り口がある様子）。1862（文久2）年、春日大社の式年造替で払い下げられ、氏子が担いで帰ったと伝わります。境内には井戸「実増井（三榑井）」があり、歌舞伎役者の八代目市川団十郎が1848（弘化5）年、井戸の囲い「井筒」を奉納しました。その前面には

榑三つ重ねの紋章を刻み、他の面には「ならの葉の広き恵みの神ぞとは此の三益井を汲みてこそ知れ」の歌と一族の名が刻まれています。この井戸水は子宝を授かる霊水と言われています。例祭は10月10日で、翌11日には天理市にある元の鎮座地・上の宮（神明神社）へ神輿の渡御があります。

銅の鳥居、子宝授かる井戸

（奈良まほろばソムリエの会会員 石田一雄）